

都道府県中学ソフト本県男子3連覇

町から出場の3選手も活躍



投打に他を圧倒し、3連覇を達成したメンバーら

第6回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会（日本ソフトボール協会主催）が3月27日（土）～29日（月）の間、福岡市雁の巣レクリエーションセンターで開催されました。

最終日の29日に男女の決勝が行われ、男子は本県選抜が愛媛選抜を6－4で破り、3年連続3度目の優勝を果たしました。

同大会には、仁淀川町から農本竜平君、石本真一郎君、片岡宜久君の3人も出場し、活躍しました。

川村拓也監督からのコメント

農本竜平君

チームの中軸・5番打者として勝負強いバッティングで優勝に貢献してくれました。不慣れなファーストにも関わらず、よく声を出し一生懸命守ってくれました。前向きな姿がチームのカンフル剤となりました。

石本真一郎君

1インニングのピッチングであったけど、全国の舞台でも物怖じせず、堂々とマウンドに立ち、3人をピシヤリと抑えた姿は圧巻でした。高知県のエースとなれるように走り込み、そして投げ込んでください。

片岡宜久君

長身を生かしたスウィングは相手に威圧感を与えるのに十分でした。気配りができ、チームの中でもよく声を出して盛り上げてくれました。高知県の4番打者となれるように1日300本以上打ち込んでください。

〈試合結果〉

1回戦	4－0	群馬選抜
2回戦	6－0	長崎KSC
準決勝	11－0	広島県
決勝戦	6－4	愛媛選抜

高知県消防大会 本町関係者に消防庁長官、知事表彰

4月21日 高知県消防大会が高知市の高知県立県民体育館で行われ、合田幸市郎団長らが出席しました。

この大会は、日頃から地域の「防災力」として重要な役割を果たしている県内消防関係者が一堂に会し、より一層の団結と協調を高め、志気の高揚を図ることを目的としています。

当日は、消防機関や消防関係者らの功績をたたえ、県知事表彰、県消防協会長表彰などが行われた後、昨年度に長年の消防功労により叙勲および表彰を受章された方々の披露などがありました。本町の主な被表彰者は下記の方々です。



消防庁長官表彰(永年勤続功労章)

西森 信彦・泉川分団長
(勤続31年)

高知県知事表彰(内助功労者)

片岡江美子
(片岡 政頼・大崎分団部長夫人
政頼氏勤続29年)



片岡さんご夫妻

“勝頼伝説・春の陣”開催

武田勝頼2010年ミステリーツアー第1弾

3月27・28日 桜の季節に合わせて、土佐に逃れたといわれる武田信玄四男・勝頼にまつわる落人伝説を知り、武田一族ゆかりの地を巡る「武田勝頼ミステリーツアー」を開催し、町内外から約20人が参加しました。

初日は武田勝頼の娘ゆす姫の墓所（越知町梅ノ森）、2日目は勝頼の兄の子大崎半四郎の墓所（桜）を見学し、それぞれの地域で行われた追悼式典にも参加しました。

両日とも、武田勝頼土佐の会の岡林照壽会長による武田勝頼ミステリー歴史講演会が行われ、勝頼にまつわる伝説や武田家ゆかりの史跡についての講話を、参加者らは熱心に聞き入っていました。

昼食時には、それぞれの地区で守り続けてきた墓所や、今に語り継がれる伝承などを語り、参加者と住民らが交流を深めました。

ひょうたん桜の優美な景観と、武田一族歴史ミステリーを満喫し、参加者らは満足の表情で帰路に就きました。



ゆす姫の墓所を訪れ説明を受ける参加者ら

問い合わせ

武田勝頼土佐の会
 TEL/FAX 0889-20-2003 岡林
 URL <http://katsuyoritosa.web.fc2.com/>
 E-mail kindsea@shirt.ocn.ne.jp

武田家研究通じ信玄の子孫と交流

16代目武田邦信氏来町



武田邦信氏(中央)

3月16日 戦国武将・武田信玄から数えて16代目で「山梨県甲斐の国大使」も務める武田邦信氏が、武田勝頼土佐の会（岡林照壽会長）との交流や大石弘秋町長への表敬訪問を目的に来町されました。

役場を訪れた武田氏は、山梨県では武田勝頼の歴史研究がほとんど行われていないことを説明し「この仁淀川町での勝頼にまつわる伝説・歴史ロマンは地域の立派な観光資源であり、今後山梨県と町の交流につながればこんなに素晴らしいことはない」と話されました。

この後武田氏と武田勝頼土佐の会のメンバーらは、大崎地区の鳴玉神社にある勝頼墓所をはじめ、桜地区、寺村地区、越知町梅ノ森地区の勝頼ゆかりの史跡巡りを行いました。



かつより君弁当

昼食時には、田舎のコンビニおしおか(田村)製造の「かつより君弁当」に舌鼓を打ちました。



売り出しのほかに舞踏やカラオケ、もちなげも行われ、観光シーズンの幕開けを告げるイベントに花を添え、会場を盛り上げました。

4月11日 中津溪谷入り口で、中津観光協会（片岡喜昌会長）主催の中津観光開きが行われました。

観光シーズン到来 中津観光開き

集落見聞録

(第43回)

下土居

集落に詳しい西田實吉さんと区長の藤原秀一さんにお話を伺いました。



下土居集落

下土居集落は、3月末現在154世帯355人、国道494号沿い池川総合支所周辺の集落です。

4棟の町営住宅（下土居第1、下土居第2、ハイツ清流、一ノ谷団地）と1棟の県営住宅（エスポワール一ノ谷）を抱える下土居集落は人口も多く、15の班に分かれています。



池川神社

毎年11月23日には国指定重要無形民俗文化財「池川神楽」が古式奉納される。

旧暦7月9日と11月23日に神祭、旧暦1月28日と9月28日に荒神祭が行われる。

494号沿い 元気なお年寄りが多い集落

西田さんが子どものころ、下土居集落は田畑が多く、家は現在の半分くらいしかないかっただけです。



西田實吉さん

昭和10年ごろ、現在のように舗装される前の国道494号を、自動車より荷馬車の方が多く走っていました。

近くにあった旅館

や労働者として働く方がほとんどで、西田さんのお宅も米・麦・芋などを作って生計を立てていたそうです。

穀物を収穫し終わった冬には、一家で育てた楮（かみそ）の皮をはぎました。外は

雪が積もり、寒い中での作業は大変だったことをよく覚えていてるそうです。

大会には子どもも大人も参加し、大崎や名野川からも力士がやってきました。また神祭の日には各家で酒と手作りの皿鉢料理を用意し、親族や友人を呼んでお客（宴会）をするのが慣例でした。

毎日毎便満員だった。今はいつ見てもガラガラ。交通の便は良くなったけど、仕事が無い若い人が食べていけない。都会へ都会へ行ってしまふ寂しいね」と集落と町の移り変わりを気にかけていました。

区長の藤原さんは「住宅があるき人口は多いけど、

夏と春にはお宮（池川神社）で神祭があり、豊年踊りの後、恒例の相撲大会をして盛り上がりました。相撲

飲むのが当時の楽しみやった」と話してくれました。「路線バスが走り始めたころは、



区長の藤原秀一さん

下土居もどんどん高齢化が進んでお年寄りが多くなり、地区総会への出席者も最近は少なくなりました。

でも西田（實吉）さんみたいな元気なお年寄りも多いですよ」と話してくれました。

